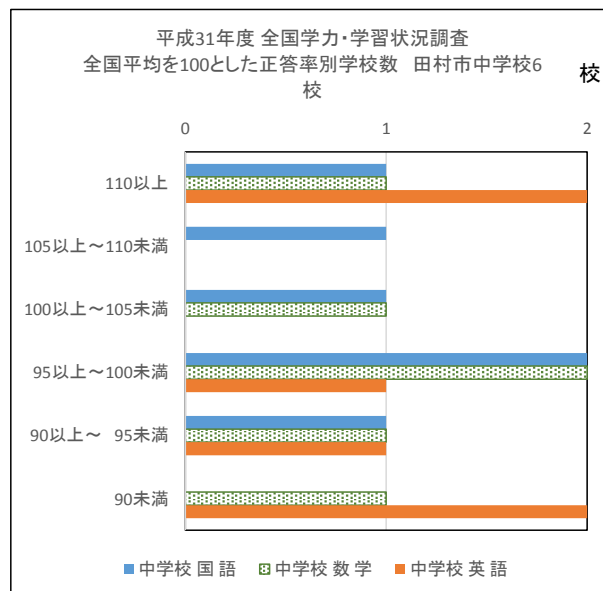
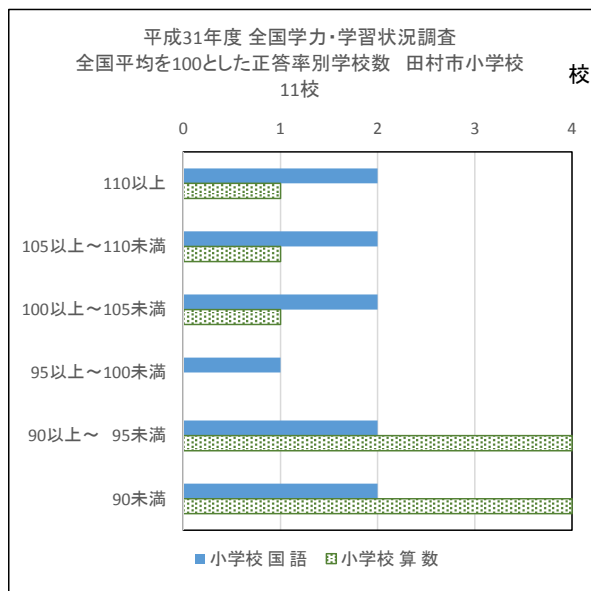
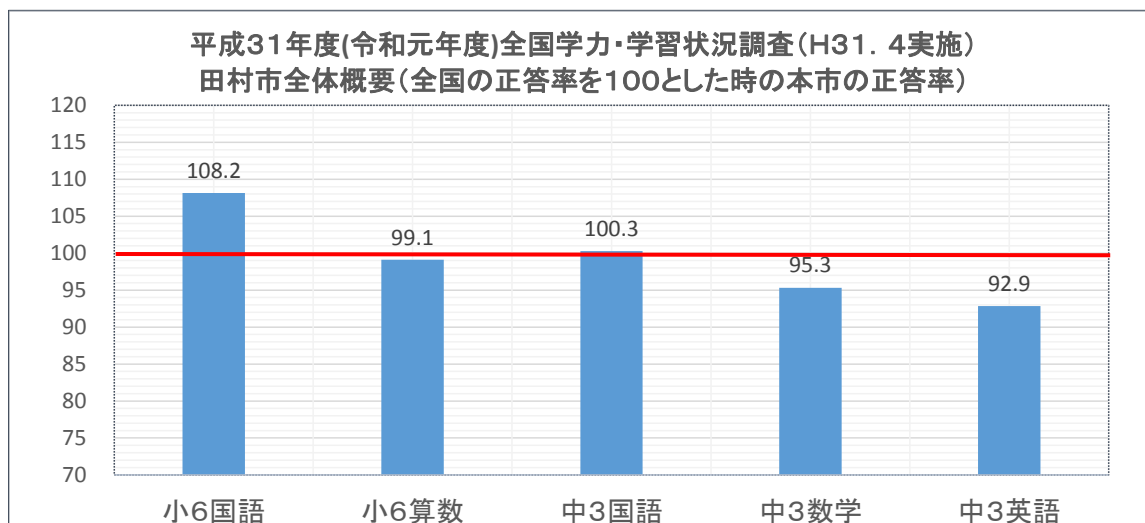


平成31年度全国学力・学習状況調査(H31. 4実施)結果 田村市の概要

平均正答率(%)による福島県平均・全国平均との比較

		小学校		中学校		
		小6国語	小6算数	中3国語	中3数学	中3英語
平均正答率	田村市	69	66	73	57	52
	福島県	64	65	72	57	53
	全国	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0
県との比較 (県全体の正答率を100としたとき) 田村市		小6国語	小6算数	中3国語	中3数学	中3英語
		107.8	101.5	101.4	100.0	98.1
全国との比較 (全国の正答率を100としたとき) 田村市		小6国語	小6算数	中3国語	中3数学	中3英語
		108.2	99.1	100.3	95.3	92.9



教科に関する調査の結果から（小学）

教科	傾向	○よい状況 ●課題
国語	平均正答率は、全国および県平均を上回っています。「書くこと」の領域では若干全国平均を下回っていますが、相当数の児童が出題されている学習内容を概ね理解していると判断できます。	<ul style="list-style-type: none"> ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。 ○文と文の意味のつながりを考えながら、接続詞を使って内容を分けて書く。 ○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。 ●情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。 ●目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。 ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。
算数	平均正答率は、全国および県平均とほぼ同等と言えます。領域別の正答率もほぼ同じです。相当数の児童が出題されている学習内容を概ね理解していると判断できます。	<ul style="list-style-type: none"> ○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。 ○示された除法の式の意味を理解している。 ●資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を説明できる。 ●示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。 ●示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。 ●目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる。 ●示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。 ●場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。

教科に関する調査の結果から（中学）

教科	傾向	○よい状況 ●課題
国語	平均正答率は、全国および県平均とほぼ同等と言えます。領域別の正答率もほぼ同じです。相当数の児童が出題されている学習内容を概ね理解していると判断できます。	<ul style="list-style-type: none"> ○文章や構成の展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ。 ○語の一部を省いた表現について、語や文章の中で適切な活用の仕方を理解する。 ●封筒の書き方を理解して書く。 ●話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ。
算数	平均正答率は、全国および県平均を下回っています。領域別では、「数と式」「図形」においては、ほぼ平均と同等ですが、「関数」「資料の活用」については、課題があります。	<ul style="list-style-type: none"> ○事柄が成り立つ理由を説明することができる。 ●反比例の表から、xとyの関係を式で表すことができる。 ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 ●資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。 ●問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる。
英語	平均正答率は、全国および県平均を下回っています。どの領域にも課題はありますが、特に「書くこと」についての課題が顕著です。なお、「話すこと」については、参考値であるため分析は行っていません。	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の中で適切に接続詞を用いることができる。 ●与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる。 ●一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる。